

平成 30 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 30 年 7 月 13 日（金）

開式：午後 7 時 00 分 閉式：午後 7 時 45 分

場所：筑紫集落センター

参加者：男 7 人、女 4 人、計 11 人

町職員：町長、副町長、建設部長、政策課長、政策課員

- ・開会 19：00
- ・町長報告 19：00～19：25
- ・懇談 19：25～19：45
- ・閉会 19：45

○東員駅前開発についての報告（町長）

○懇談

男性 1 東員第一中学校の移転については、単独での移転は難しいのでしょうか。

町長 開発の断念により、単独での移転は難しいと思います。東員町小中学校適正規模適正配置検討委員会を設置し、どのような方針でいくかを検討している段階です。新しい形の学校であれば移転の可能性がありますので、模索をしながら検討していきたいと思っています。

女性 2 業者が撤退した理由はなんなのですか。

町長 3 月に買収単価を提出してきました。その中で、東員駅前駐車場の用地を買収した単価を参考にしたところ、積水ハウス(株)と東員町の買収単価に大きな差があったことが大きな理由だと思います。

女性 2 企業は採算を考えていますよね。撤退したということは企業にとって採算が合わないということですよ。町にとっても採算が合わないことにならないのですか。

町長 積水ハウス(株)から聞いていた買収単価で積算したら、儲かるんです。ある企業に見積依頼して路線化の単価で買収して計画して売っても採算は取れます。1、2割は儲かります。ゼネコンの利益は 3%ありませんから、ゼネコンならやるだろうと

と思いますが、積水ハウス㈱が求める利益にならなかったと判断されたと思います。

男性 2 他に 2・3 社企業があると聞きましたが、なぜ断ったのですか。

町長 断ったわけではなく、時間が足らなかったからです。

男性 2 時間が足らなかったのはなぜですか。

町長 三重県都市計画審議会が来年開かれ、三重県都市計画マスタープランが変更になります。変更になれば、市街化区域以外で人口増加に伴う開発が出来なくなりま
す。それまでに人口増加に伴う開発をするには時間が足りないため、間に合わない
と判断し、断念しました。

副町長 この場をかりて報告があります。大阪の地震によりブロック塀が倒れるという
被害がありました。それに伴い、東員町教育委員会が調査をしました。1つ目は校
内に危ない塀があるかどうか。2つ目は通学路に危ない塀があるのか。1つ目は目
視ではありますが問題ありません。2つ目については、民地にありましたが、財産
権などがあり、直接手を加えることが出来ません。国からガイドライン等情報がで
てくるのを待ちたいと思います。

男性 2 災害についてですが、東員町は大丈夫なのか。

町長 水害については、1000年に1度の洪水で員弁川より南側は危ない地域が出てき
ますが、北側は問題ないと思います。ハザードマップを来年更新する予定ですので
それをお待ちください。

女性 2 耐震診断は無料ですが、その後の費用はでないのですか。

建設部長 耐強震補強の補助については、補助制度がございますので建築士とご相談の上、
窓口へお越しください。

男性 1 県道・町道の草刈りをもう少し検討していただきたい。

建設部長 県道については、財政事情で三重県から2回を1回にするとご報告がありまし
た。町道については、草刈り業務委託でお願いしたいと思っております。よろしく
お願いします。

